

令和4年度第5回御宿町教育施設検討委員会 議事録

日時：令和4年12月8日（木）

午後3時から

場所：御宿町役場中会議室

（事務局）

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

会議に先立ちまして、今回保護者代表といたしまして、新たに委員をお願いさせていただきましたおんじゅく認定こども園会長の岩瀬久美子様へ町長より委嘱状を交付させていただきます。

— 委嘱状交付 —

どうぞよろしく願いいたします。

改めまして、ただいまより、御宿町教育施設検討委員会を開催いたします。

はじめに、三上委員長よりごあいさつをお願いいたします。

（委員長）

本日は、師走のご多用の中教育施設検討委員会にご参加くださり、ありがとうございます。

前回会議におきましては、この検討委員会は、アンケートを実施後、年明けにお集まりいただく予定でしたが、事務局の方から、保護者の皆様に行いました経過説明会の報告と、アンケートの実施に係る検討事項についての協議をお願いしたい旨のお話がありましたので、急遽お集まりいただいたところでございます。

どうぞよろしく願いいたします。

（事務局）

ありがとうございました。

続いて、石田町長よりごあいさつ申し上げます。

（町長）

本日は、大変お忙しい中、教育施設検討委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、11月22日、25日、26日と4回の御宿小学校校舎更新に係る経過説明会を開催し、保護者の皆様からたくさんのご指摘、また、貴重なご意見を頂戴いたしました。検討委員会の委員の皆様におかれましても、お忙しい中ご参加くださりましてありがとうございました。

また、その説明会の中で、今後御宿小学校に入学していくこども園の方を検討委員会のメンバーに入れるべきであろうというご指摘をいただきまして、急遽ではございましたが、おんじゅく認定こども園の代表としまして、岩瀬保護者会会長にもお声かけさせていただき、今回から御宿

町教育施設検討委員会委員としてご参加いただけることとなりましたのでどうぞよろしくお願いたします。

前回の会議におきましてご報告させていただき、当初は、11月末にアンケート調査を実施する予定でしたが、説明会にて保護者の皆様からいろいろなご意見をいただき、今後の進め方において修正が必要だろうと判断いたしまして、本日皆様にお集まりいただきました。

町といたしましては、町の大きな事業の一つでございますこの御宿小学校の更新がお子様、保護者の皆様をはじめ、町民の皆様にとってよりよい方向で進めていけますよう引き続き協議を進めてまいりたいと考えております。

後ほど、アンケートや協議事項につきましては、事務局よりご説明させていただきますので、皆様の忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

(事務局)

それでは、御宿町教育施設検討委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が議長となりますので、三上委員長議事進行をお願いいたします。

(委員長)

それではよろしくお願いいたします。

本日、本委員会の傍聴の希望がございましたので、傍聴を許可しておりますのでよろしくお願いいたします。

では、議事の内容に入りたいと思います。

議題1 御宿小学校校舎更新に係る経過説明会報告について
事務局より説明を求めます。

(事務局)

それでは、御宿小学校校舎更新に係る経過説明会についてご報告させていただきます。

11月22日、25日、26日の全4回、御宿小学校校舎更新に係る経過説明会を実施いたしました。参加保護者数110人、ご案内させていただきました保護者数は、全体で268人でしたので、参加率は41.0%でした。その他、議員の皆様、区長の皆様、検討委員会委員の皆様を含めると、参加合計人数は123人でした。内訳といたしましては、御宿小55人、布施小7人、御宿中学校19人、こども園27人、所属無し2人、その他13人となりました。

当日は、御宿町の今後の児童生徒数の推移及びこれまでの教育施設検討委員会での協議内容についてご報告させていただきまして、そのあと、皆様からの質疑応答の時間をとらせていただきました。質疑応答の内容につきましては、別添資料にて添付させていただいております。

当日、ご都合がつかず、参加できなかった保護者の皆様については、資料及び会議録、質疑応答については、町ホームページで公開させていただきますので、ご覧いただけるように各学校、こども園の連絡メール等を利用しましてお知らせさせていただく予定です。また、まだこども園にも入っていないお子さんをお持ちの保護者の皆様には通知させていただく予定です。

さて、保護者の皆様からいただきました質疑・ご意見についてですが、いくつかご紹介させてい

ただきますと、布施小学校と御宿中学校の2か所の敷地に決まった経緯、選定方法、アンケートの実施に関する事、小中連携教育、小中一貫教育に関する事、送迎や駐車場に関する事、スクールバスに関する事、今後のスケジュールに関する事、御宿小学校の跡地利用に関する事などの質問がございました。

アンケートに関する質問では、どんな内容が聞かれる予定なのかというご質問や布施小学校と御宿中学校の2択とするのではなく、その他という欄を設けてご意見を聞いたらどうだろうかというご意見もございました。

また、保護者の皆様にとっては、布施小学校、御宿中学校について実際になかなかイメージがわからないということで、事務局として考えている案などがあれば知りたいということ、保護者の皆様が心配している部分について、特にスクールバスの運行や送迎時の車の問題など危惧しているというご意見がございまして、現段階で考えている対応などを含めて可能な限りの情報を提供して欲しいというようなご意見がございました。

また、特に小さいお子さんをお持ちの保護者の皆様や移住してきた皆様にとっては、布施小学校、御宿中学校に行ったことがない、様子がわからないなどというご意見もございました。

また、小さな集まりの説明会、懇談会などの開催希望もございましたが、この点については、各区の区長様などにもご相談させていただきながら、検討させていただければと考えております。

町の意向といたしましても、布施小学校と御宿中学校2つの候補地については、大きな方針であり、町民の皆様に広くご意見をお伺いしたいという考えのもと進めておりますので、今回説明会にてご質問・ご意見をいただきましたものを加味した内容で、アンケートや添付資料についての見直しを行いました。今回、改めて修正したものを委員の皆様にご相談させていただくものです。

(委員長)

続いて、議題2 御宿小学校更新に係るアンケートについて、事務局より説明を求めます。

(事務局)

続いて、議題2 御宿小学校更新に係るアンケートについてご説明いたします。

本日お配りしております、資料2アンケート案をご覧ください。

はじめに、アンケートの内容ですが、問1については、前回会議にてお示しさせていただきました内容から変更ございません。続いて、問2につきましては、御宿小学校を更新する上で最も重要と思う上位5つを選択していただくところですが、用語について難しいというご意見をいただきましたので、用語解説を加えてございます。

続いて、裏面を見ていただいて、問3ですが、こちらは、現在候補地として検討しております、布施小学校の敷地と御宿中学校の敷地のどちらかを選択していただくところですが、その下に、その他を記入できるところを加えました。また、その他にて候補地となるような場所をお書きいただいた際は、上記と同じく、良い所を記入いただけるようにいたしました。

アンケートの配布につきましては、12月23日、この日学校は終業式の日になりますが、その日に配布させていただき、年明けの1月10日を回答期限としてご提出をお願いしたいと考え

ております。一般の方につきましても、同じ日程で発送できましたらと考えております。

続いて、添付する資料でございますが、校舎更新に係る説明会での質疑応答、これは、先ほど、説明会報告のところで、お渡ししてございます資料と同じものになります。それと、御宿小学校校舎更新候補地比較検討資料、これは、以前検討委員会でお示しさせていただいたものに、少し修正しまして、良い所と心配なところの記載を付け加えております。そして、御宿小学校校舎更新配置図（案）としまして、布施小学校敷地内と御宿中学校敷地内の2つの配置図としまして、それぞれの敷地に設置した場合のイメージ図を添付させていただき、説明を配置図内に入れてございます。

いずれにつきましても、アンケートに答えやすくするために資料を添付するのですが、できるだけシンプルにかつ情報をお伝えできるように検討させていただきました。

こちらをご覧くださいまして、委員の皆様からご意見をいただけたらと思います。

（委員長）

ただいま、事務局から議題1、議題2と説明がありましたが、資料が多くありますので、目を通していただくために時間を取りたいと思います。その後の話し合いもありますので、10分程度時間を取りますので、よろしくをお願いします。

（委員長）

よろしいでしょうか。

それでは、会議に戻ります。

それでは、先ほどお話ししましたとおり、ご意見いただきたいと思います。

説明会でどんな質疑があったか、質問があって、その質問に対してどう回答されていたかというのが、これまとめるだけで本当に大変だったのではないかと思います。丁寧にまとめていただいたなと思っています。まとめていただいた上で、事務局の方では大まかに布施小と御宿中の2箇所に敷地が決まった経緯、それから選定方法として、小中連携教育、送迎や駐車場に関する事、それに関わるスクールバスに関する事、また、今後のスケジュールに関する事、こういうものを柱として考えていったようですが、それをもとにアンケートの方を再度見直ししていただいたということになります。

私が思ったことは、問3に「その他」というところを加えているところがまた住民の皆さん、保護者の皆さんにご意見を聞こうという姿勢がこのアンケートにも現れていると思いました。

今日の会議では、このアンケートの内容を保護者の皆様、そして住民の皆様にこの内容で出してよろしいか協議いただきたいということになります。委員の皆さまからご意見があれば、出していただければと思います。

それから、質疑にもありましたが校舎更新の配置図案も今回出ました。イメージとして、非常にわかりやすい資料が出てきたと思います。尚且つ、校舎をあまり知らないという方についても、またこの後事務局よりご案内があるということですので、皆様のご意見をお願いいたします。

(北村委員)

先ほど議長からお話ありましたが、すごく大変な作業だったと思います。お疲れさまでした。ありがとうございました。アンケートの内容の是非ということですが、私としては説明会4回実施され参加されてない方、親同士で今色んな会話が繰り広げられています。子供たちの未来、御宿町の未来についてすごく今関心がありますので、それはとても素晴らしいことだと思います。この議論をもう少し続けてそれからアンケートでも良いのではないかと考えています。せっかくの機会なので、ずるずると期限を延ばすというわけではないですけど、例えば数ヶ月とか半年とか着工が遅れたとしてもきちんと皆さんと対話しながら準備をしてということの説明会の中でも町長におっしゃっていただいたところで、僕がこのアンケートを今すぐやってしまうと一番もったいないと思うところは、このコンセプトというのがまだ議論されていない。形になっていないということです。今までのこの会議でも私は布施小だったらこういう学校ができて移住者が増えるのではないかと、あるいは御宿中でも小中一貫ということで、そのコンセプトの打ち出し方が色々あると思いますが、こっちの敷地に建てるのであれば、こういうコンセプトでこんな学校にしてというように、このアンケートの回答の中にもありましたけれども、人口減少が進んで元気がなくなっている中で、この学校方針を大きなチャンスと捉えて進みたいと、ここがやっぱり一番大きいのではないかと、だとしたら繰り返しますが御宿中ではこのようなコンセプトでこういう学校を作れるのではないかと、そしたら町に活気が出るのではないかと、あるいは布施小だったらこういうというコンセプト、アイデアがやはりほしいと思います。それが提示されたうえで、最後にアンケートというのはありかなと思います。その議論も提示もないでアンケートを実施するともったいないなと私は思います。具体的にコンセプトも例えばA4一枚にまとめて、町の皆さんにアイデアを応募してみるとか、それを例えば全部添付すると大変なんで、URLを掲載しアンケートを回答する前にこちら閲覧して参考にしてくださいとかそんなやり方もいいかなと思います。コンセプト、アイデアを募集して、みんなでそのコンセプトシートを見て、これだったらこっちの方が良いなということが町の中に広がって最後にアンケートで結果が出るというのが一番良いと思います。すみません、長くなりました。

(委員長)

はい、ありがとうございます。今の意見は、もう少し議論を続けてアンケートを実施した方が良いのではないかと。どういうコンセプト、アイデアで進めていくのがいいのかということをもっと少し時間かけた方が良いということでもよろしいでしょうか。

(北村委員) はい。

(委員長)

他にございますか。

(立野委員)

はい。私は、北村委員とは逆の意見になりますが、説明会を実施されて参加率が40%程度で

あった。全員が来れる来れなかったといわけではなく、参加しなくてもいいかなと思っている方も中にはいたと思います。コンセプトも大切なんですけど、アンケートが届いて実際にこういうことが起こるんだと皆さんに知ってもらって、このアンケートですべてが決まるわけではないと思いますので、1度子どもたち、家庭には必ず届く、その人たちから意見が上がってくると思います。そうすることで少しでも関心を持っていただける。そして、もう少しこうした方がいいのではないかというものをその他の意見のところに入れてもらうような形が良いのではないかなと思います。このままコンセプトを決めてもやはりこのまま終わらないと思います。1度出してみても、さらにまだこれで決まらないようでしたらコンセプトを立てて、もう1度アンケートをやっても遅くないのではないかなと私は思います。

(委員長)

はい、ありがとうございました。住民の皆さん、あるいは保護者の皆さんのご意見をもとにアンケートの方は作成し、資料も添付してきたということなので、1度出してみても、それで皆さんの意見を集約して、それから進めることができるのではないかということだと思います。他にご意見を聞かせてください。

(北村委員)

はい。今の意見を聞いて確かに1回投げてみるというのもいいかもしれないなと思いました。だとすれば、どちらがいいですか。という質問が心配です。この設問を抜いた形で、声を集めるというアンケートでしたら早めに1回投げてみて、2回目のアンケートで最後に敷地を選んでもらう形でしたらいいのかなと思います。1回目のこのアンケートでもう布施小なのか御宿中なのか、その他もあり三択みたいになりますが、布施小何割、御宿中何割と数字が出てしまって、もう一回検討していくというのは難しいなと思いました。

(委員長)

はい。布施小、御宿中と二つの敷地の選択肢が出ていますが、それは明示しないで違った形でアンケートを出した方がいいのではないかということですね。

(北村委員)

例えば、布施小だったら御宿中だったらどの辺がいいと思いますかとか、その良いところ心配なところというのがアンケートにあると記載されていますが、あれを皆さんに出していただくという感じですね。あるいは心配なところは何がありますかというのを出していただくという感じです。

(委員長)

アンケートの中に重要ですか、御宿中の場合は、どういうところがいいと思いますか。何が心配ですかということを出してもらいたいということでしょうか。

(北村委員)

はい、そうです

(委員長)

皆さんいかがでしょうか。

現状難しいと思うんですけれども、今日はそのアンケートの内容についてということで、内容も含めてなんですけど、その前に前段階みたいな話になっていますが、これで出そうか。あるいはもう少し吟味した方がいいかというところもあるんですけれども、事務局としてはおそらく今後の段取りもありますので、ここまで資料もつけていただいたということもあるので、進めていきたいなという気持ちはもちろんあると思うんですけれども。でも、その進め具合もそんなに焦ってもいけないんじゃないかということがあるので、皆さんのご意見を聞かせていただければと思っています。いかがでしょうか。

はい、お願いします。

(埋田委員)

少しずれてしまうかもしれないんですけど、保護者として言わせていただくと、3. 11である津波でみんな高いところに避難してということを経験して体験している身からすると、本当に熟考して考えていて、慎重に建て直さないとけないと思うんですけれども、今やっぱり津波がもし来た時に危ない場所に御宿小の生徒さんいらっしゃるわけじゃないですか。で、確かに慎重にあと三ヶ月伸ばして、半年伸ばしてと口で言っちゃうのは簡単なんですけど、娘が生徒として小学校に行く時に無事にずっと終わってほしいなあとか何もないといいなと常に願っていたんです。だから、そういう意味からすると、だらだらと伸ばすのも不安がずっと続くわけなので、よろしくないのではないかと。ただ、この間、説明会なんか聞いてると御宿小学校がいいののと言っている保護者さんが結構いたことに私はびっくりしちゃいました。自分がずっと恐れていたのに、この人達は大丈夫なんだなあとちょっと温度差もまた感じましたし、また、本当に簡単に考えて説明会というのでさっと終わるのかなと思って行ったら結構長い時間になってしまっていて、ご意見の方も伺えば伺うほど、どんどん脱線するような質問もあり、またさっき質問したのに聞いてなかったのかなというような、また違う人から同じような質問があったりなんかすごいキリがないなというのを正直感じてしまいました。変な言い方かもしれないんですけど、キリがないなと思いました。お値段のこととかも提示しないと要望はどんどん増してしまい、これぐらいでやりたいとか、ちょっと収まらないかもしれないけど、ある程度の提示をしないと保護者の要望はどんどん増すと思います。それこそご老人を乗せるバスも動かしてみたいな意見も出ちゃったりして、ちょっと方向が違っちゃったかなと聞いてたんですけど、どんどん要望が増えて脱線してしまうので、ある程度のものお示しして早急になってあれですけども、なんとかこう早い安心を子どもたち、保護者に持っていただきたいなと思ったのが保護者説明会2回参加させていただいた感想です。すみません、ちょっと脱線しましたが以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございます。おっしゃるように、それぞれの方がそれぞれの立場で、それぞれ子どもを思い、町を思いお話してくださるので、なかなか集約というか、同じ方向に進んでいけないというのが現状だと思います。従いまして、それをなんとか皆さんが同意できるように、進めていければいいなと私は考えてるんですけども、その辺でまたご意見をいただければと思います。アンケートというのは、私はこの質疑の中でのものをしっかり捉えて回答したアンケートではないかなというふうに思っております。これだけの資料、配置図等、作成するのにどれだけ大変だったのかなと思ひまして、配置図書くにはそれなりの意味があって、それだけのことを考えないとできませんので、よく考えてやってくれたんじゃないかなというふうに思います。先程立野委員さんからもアンケートを出してみようかという意見もありましたし、それから北村委員さんの意見もこれで一回出してみようか、但し、その内容をもう少し考えてほしいみたいなご意見だったと思うんですけども、このアンケートを出すということで、事務局の方では12月23日に出していければというふうに考えているということなので、出すということで皆さんがよろしければ出して、それでこの内容をもう一回皆さんで見直すということで、お話を進めてもよろしければそうしたいのですが、どうでしょうか。

(北村委員)

すみません、都度都度難癖をつけてしまっていて本当に申し訳ないんですけど、アンケートを2回やるというのもいいんじゃないかという意見も出ました。だとすれば、やはり決定までのプロセスと言いますか、1回目はこういう趣旨で、こういう目的で第1回目のアンケートをやる、しかるべき後に2回目はこういう風にして、どういう形で結論を持っていくというような、ある程度のストーリー、段取りというのが見えないとなかなか何とも言えないなという感じがします。

(委員長)

今は、どのぐらいのストーリーというお考えですか？

(北村委員)

例えば、先ほど申し上げたような1回目のアンケートを、良いところ心配なところを出してあげてもらおうというアンケートを1回目にとって、それを整理して第2回目のアンケートに盛り込んだ形で最終的に布施小、御宿中、その中で選んでもらうとかだったら、意味がわかるんですけど、それぞれのアンケートの目的と言いますか、それで最終的にそれを参考にして決めるみたいなことです。例えば、後はやっぱり申し訳ないですけど、私がこだわりたいのは、コンセプトということなんです。例えば、町長と執行部の思いで書いていただいても全然いいと思うんです。こういうコンセプトでやりたいと。町からこう吸い上げてという話をしましたけど、期間的にちょっとまだほしいんじゃないかというのであれば、用意していただいてぶつけていただいてもそれはいいと思うんです。いずれにしてもそのコンセプトがないのは、やっぱり大きな批判だと思うし、欠落だと思います。

(委員長)

はい、わかりました。ありがとうございます。この前、ここに出していただいた質問とそれと回答。この回答の中に御宿中と布施小、それぞれのことについて心配なことなど、そういうことが含まれているかと思います。なので、その辺をもう1度このアンケートの中に聞いてきて、お願いするのはどうかということは今感じてしまったのですが。書いてありますよね、それに対しては、答えが出てると思うんですけども。

(立野委員)

すみません。私はこのアンケートで布施小、御宿中の他にその他というのが増えたので、このままでいけるんじゃないかと思います。最初にこの会議が始まった時に、どこかに建てましようと言った時に皆さんはどこがあるのですか？とききましたよね。それで、町の方から案をいくつか出してくださいとなって、4つ出してもらいました。それで2つに絞ったんですが、同じことが起きると思うんです。布施小ではなく、御宿中でもなく、その他がある。で、それがまたまっさらな状態になった場合、他の人、一般の方もいくつか出している、同じ思いになると思うんですね。説明会では、もうすでに布施小、御宿中とこういった経緯でなったというのは、出ているので、私はこのままその他も入っているので、もうちょっとその他を太字にしてあげればいいと思います。その他がちょっと見えづらいので、布施小のいいところ御宿中のいいところとあって、ここをもう少し太字にしていれば、ここがいいよという人はそこに書くと思うんです。それで、どこがいいかというのをここで答えると思うし、本当に布施小、御宿中というのをなくしてしまって、またまっさらな状態にしてしまうと一から戻ってしまうような感じで、委員会の皆さんもあなたたちがいくつか出せるのではということも言われるような気がして、私はこのままその他の部分を太字にしていadak、出した方がいいのではないかと思います。

(委員長)

なかなか難しいですが、やはり施設検討委員会の最初には、その選定というのがまずどこがあるのですかということから始まっています。なので、そこが原点であるので、またそこに立ち戻るようなものではやはりいけないと言いますか、時間が戻ってしまう。この委員会でやってきたことが、また原点に戻りつつあるのではないかというご意見だったと思います。なので、立野委員おっしゃるようにその他が含まれているので、布施小、御宿中、他の意見があればその他に記入するでだろうということだとは思いますが。皆さんのご意見をいっぱい聞きたいと思うので、お願いします。

(吉田和委員)

はい。自分も立野委員と同じなんですけど、また始めからとなると、今までここでやってきた会議の意味がなくなってしまうと思いますし、7月に現地を見に行った中で、ここがいいのではないかとということで2箇所決まりましたので、できれば最大限このアンケートは利用してもらって、北村委員の言うことも確かにあると思いますので、布施小、御宿中で良いところってあるんですけども、ここにあと布施小でもっといいと思ってることがあれば、こんな意見もあるとい

うようなことが書けるスペースを入れてもらって、最終的に上がってきたら、もう1度皆さんでそういう意見もあったということで検討できるので、最大限このアンケートは生かしてもらえる形がよろしいと思います。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

布施小、御宿中でそれぞれ敷地の良い点を明記してありますが、それぞれのアンケートの記入者がもっとこういう良い点があるみたいな形で記入していただくということですか。

(吉田和委員)

そういったスペースを作れば、思い入れがある人がいたら書くと思います。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

そのような意見が出ました。また、アンケートの内容についておっしゃっていただければと思いますが、どうぞ。

(浅野委員)

今の吉田委員の意見は、大変良いと思いました。ということは、アンケートの方に、布施小の敷地と御宿中の敷地のそれぞれ良いところは書いてありますが、これはあくまでも一部であって、もっと他の観点もあるかと思しますので、それぞれアンケートに回答する方が思いつくもっと良いところというのがあったら書き込めるような、そういうスペースというのは非常に有効ではないかなと思います。

それともう一つは、ちょっと今回の内容から離れちゃうかもしれませんが、私が思う基本的なことですがお聞きいただければと思います。昭和50年に市川からこちらに来たんですけども、その時ちょうど御宿小学校はまだ建設されて何年も経っていない新しい校舎でした。大変素晴らしい校舎だなあというふうに思って感動したんですけども、それに対してあの役場の庁舎というのが、今の公民館の駐車場になっている川沿いのところにあった旧家政高校の校舎でした。で、鳥小屋と言ってしまうと失礼ですけども、非常に質素なものだったんですね。その時にうちの父が色々話してくれたことには、やっぱり五倫鬘の精神というのが、御宿はとても問われているんだよってということで、御宿町というのは将来を担う子どもの教育というものをとても大切にしているんだということで、近隣の勝浦市や大原とか、この近くの市町村と比べると非常に潤沢な教育予算を組んでくださっていました。ですから、学校の事務職員の方とか教頭先生あたりは、御宿町はとても非常に教育熱心な町だからとてもやりやすいというようなことをおっしゃっていたことを思い出します。で、現代とそれから当時とは社会情勢も大きく違いますし、町の予算の問題もあると思いますので、大きく異なっていますから、何とも言えないんですけども、基本的な姿勢というのは、教育に対する姿勢は大切にしていきたいなというふうに思いました。当面、校舎を建てるとか建築物とか、そういう物の方に目がいってしまっていますが、その基

本にある教育に対する姿勢は、やはり御宿として大事にしてほしいなというふうに思います。ちょっと議題から外れたかもしれませんが。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

そうですね、まさにそうだと思います。やはり、町の中で子ども達は育ちますので、そういった環境整備とかあるいは教育に対する情熱とか配慮とかそういうものは大人の社会で整えていってあげたいなというふうに思っています。

ありがとうございました。他にご意見ございますか。

(新島委員)

私、2回目の説明会に参加させていただいたんですけども、全くの個人的な感覚ですが、7、8割が他の保護者の方は、中学校に立つだろうなという想定のもとの会議の質問が集中していたように感じます。なので、アンケートをとった場合、私は中学校の票数が増えるのではないのかなと思っております。ただ、町長様が校舎を建てるにあたって、4つの視点を出してくださった中で、2つ目が自然環境を上げてくださっているということは、私はやはり素晴らしい理念をお持ちだなというふうに思っております。そうした時に布施小学校の自然環境はやはり私は素晴らしくて、教育的価値が非常にある。また、町の未来を推進するのに一つの大きなポイントだなあと思っておりますが、ただアンケートをするのは良いと思っております。もし願うならば、アンケートの裏面なんですけれども布施小の敷地の良いところに自然環境の充実という文言があるのですが、教育者としてはやはり自然環境を生かした特色ある教育活動が推進できるんだというような文言に変えていただければ、少なくとも布施小の良い面が、この今ある自然環境の充実よりは少しでもアピールできるのかなというふうに思っております。これは一つのお願いです。すみません。それと説明会の時に、保護者の皆様がすごく集中してたなと感じたのは、送迎のことです。やっぱり保護者の方は、日々送迎をしたり、雨天の時どうなんだろうかととても直結していることだからだと思ったので、そうなってくると、このアンケートの回答を見ますとまだ送迎に関しては不十分ではないかなと思っております。この施設の配置図等含めても、その送迎の部分についてはまだ回答の部分ではもう少し提案していただきたいなというふうに思っています。私は、学校現場で働いておりますから、どんな敷地であれ子どもたちを責任持って預かって精一杯やるのが私たちの責任だと思っておりますから、一生懸命務めさせていただきますが、例えば、この校舎が入りますよという文言だけでは、やっぱり私でも何階建てなのかとか本当にここに遊具が例えばブランコだったら何基設置できるんだろう、ジャングルジムだったらどのぐらいの高さのものがどのぐらいできるんだろうというようなその辺の部分の計画を入れた段階で十分子どもたちが満足、教育が保証できる広さが確保されたうえでのこの配置図であるということを受け取ってよろしいでしょうか。もちろん、専門家の方のご指導を仰いでいらっしゃるかと思いますが、どうもイメージ的に私はちょっとイメージが湧かなくて、この施設の中に本当に校舎が立つのかなというように、そういう部分がちょっと具体的に見えないので、きっと保護者の皆様もこのアンケート資料を出されても、せっかく説明会に来られて一生懸命意見を述べられ

た方の返答とイメージを持っていただいた上で、より良い選択をしていただきたいなと思うんですけども、この配置図の案が、私のイメージがつかめない部分があり、校舎も何階建てとかという資料や文言もあったりすると、より保護者さんたちには親切なだろうと。説明会のご回答がとても丁寧だと思います。よくこんなに丁寧にまとめられたなと思います。私、こんな意見はもういらんんじゃないかなと正直思った質問もありましたけど、それもきちんと書いて説明されていて、言葉を録音したものを丁寧に文言も吟味してやってくださったなというふうにととても感謝しています。だからこそ、この配置図がもう少し私も分かるようなものにしていただけるようであれば非常にありがたいかなというふうに思いました。

最後ですが、アンケートを実施するにあたって、23日の配布となっているのですが、今学校は結構コロナとかで長期にわたって休む児童がおりまして、以前のように通知表を渡すのであれば、23日お休みしても保護者の方に通知表を取りに学校へ来ていただいているのですが、2期制になって通知表も渡しませんので、場合によっては、保護者さんには最後の日に子どもが登校しなくても来ていただかない場合もあるので、もう少し余裕を持って配布していただけたら、保護者さんたちに、お渡しできるかなと思います。お渡しできない方については取りに来ていただくような形になるのでしょうかということが質問です。

(委員長)

今ですね、布施小学校の敷地のところのアンケートの中の自然環境のところの魅力的な環境と言うか、そういうものを含めて文字でわかるようにしてほしいと言うことが一点、あとは配置図の方がもう少し詳しくわかるしていただければということだと思いますが、やはり配置図があって、また左上に説明は記載されていると思いますが、それだけでもまだ不十分だということであるということですけども。なかなかどんな遊具を置くとかかそういうものについては、場所はこの辺というのはあるのですが、そこまでの詳しいところまではなかなか事務局の方も難しいところがあったので書いてはいないという状況かなと私は思っておりますが、その辺お答えできますか。

(事務局)

説明会の中でできるだけ今の現時点でわかる限りの資料を付けてもらいたいということで、これが用意されているわけです。これ以上のものを作れていないわけです。なので、できる限りの中でお示しできるものを提示しているというところでご理解いただきたいと思います。

(事務局)

はい、今ご回答いただきましたけれども、現時点でできる限りの配置図を示しましたということだと思いますが、いかがでしょうか。

(新島委員)

送迎についても同じでしょうか。

(事務局)

送迎については、先ほど心配なところと良いところのまとめた表があると思います。この一番下のところにスクールバスの送迎については、安心安全なということで、町長も説明会で話しておりますので、スクールバスの運行をするという部分と中学校の配置図の中にも入り口の拡幅を示しています。これは、歩道と車道と分けた形で考えておりますが、ここを拡幅して入口を作る予定でいるという部分を書かせていただいております。また、昨日、今中学校の脇の道がスクールゾーンになっていますが、この規制を少し変えることができるのかどうかということをご相談に行ったのですが、やはり警察としては、ここが一番危険な道だということで、絶対にここは外せませんということで言われておりますので、この敷地に想定して考えるとすれば、道を広げて出口と入り口を分けて歩道を設置して子どもたちが歩いてくることを安全に守りながらやっていくというのが一番ではと事務局としては思っているところです。ただ、国道も今見ていただけるとわかるんですけど、歩道がなかなかないというところで、ここが決まるようであれば、というよりも早めにここもグリーンベルト的なものを塗っていただいて、車道と歩道がわかるような形を町としては要望していくべきだということも昨日警察と話して、やはり感じましたので、今後、国道のこの車道と歩道のグリーンベルト的な塗装をやっていただくような要望をしていかないといけないなというところです。これは今、現時点でもやはり棲み分けというのをしておりますので、この辺は要望していければなというところでございます。

(新島委員)

はい、すみません。じゃあ布施小の場合はどうなるのでしょうか。

布施小の場合がどうなるかということで、あとは行事があった時には、B&Gとかを使うと書いてあるのですが、布施小の場合はまだそこを検討しなくてはいけないというような文言でしか終わっていないので、布施小の送迎も非常に道が狭いので、やはりそういうことも並行して同等の対応策をお示しいただけるとありがたいなと思います。

(委員長)

お願いします。

(事務局)

はい、まず最初に布施小については、現時点での面積をお示しするわけで、このあとなんと言いますか、買えばいいとか広げればいいのかという話というのは全く抜きの話で、布施小学校が候補地に挙がっています。御宿中と布施小だともうすでに約1万4千㎡ほどの違いが面積で出ますので、ロータリーは作りますが、道を広げるとか、そういうところというのはなかなかいきなりできますよという話ができせんので、ロータリーで送り迎えはしていただけるような棲み分けができて、こう完全に入って来れるようにできると思いますけど、あとはスクールバスで安全を図るところが布施小学校の場合は一番の安全策だと思いますので。スクールバスで通っていただくというところを第一優先で考えていただくというところです。

駐車場については、確かに運動会の場合はグラウンドを使いますので、布施小学校の場合は、

確かに今の現時点では駐車場がないので、スクールバスを運行するという事を利用して、例えば須賀の多目的広場に集まっていたら、そこからピストンで小学校に送迎するというようなことも考えられます。グラウンドを使わない行事であれば、グラウンドに駐車するというような形で対応が可能ではないかというところまでは考えてはいますが、それが実際に布施小になった時にどうなのというところまではまだ考えられない。ただ、そういう方法もありますよということをお示ししておきます。

(委員長)

はい、ありがとうございます。よろしいですか。

それでは、アンケートの方に戻らせていただいてよろしいですか。このアンケートを12月23日前になるかと思うんですけども、出すということによろしいですか。内容は、先ほど皆さんから伺った内容を直して出すということにしたいと思うのですが、その内容について、まず一点は、先ほど申しましたように、布施小学校の良いところの自然環境、それを教育的な環境も素晴らしいというところを入れて書き直すと、それから布施小、御宿中の敷地の良いところをアンケートの中に自由記述で書いていただく欄を設けたらどうかという意見がありました。それからその他のところですが、分かりづらいので太字で書いたらどうなのかということがありましたので、その辺も直してそれで出したらどうかというようなことだったので、よろしいでしょうか。

(鶴岡委員)

このアンケートの間2を今自分なりにやってみたんですけど、すぐに思いつくのが高台への建設、これは丸かなと思ったんですけど、あと安全性のある施設、耐久性の強い施設というのが欲しかったかなと思いますが、財政規模に合わせた施設建設の中に含まれるのかなと思ったんですけど、安全性とかそういう言葉が入ると選びやすいのかなと思います。あと、他は見てもこれは悩むかなと思いました。

(委員長)

はい、ありがとうございました。この間の中に、安全で保護者が安心して預けられる環境、そういうものを入れたらどうかということになるかと思います。

(鶴岡委員)

耐震強度の強いものとかあると選びやすいのかなとは思いますが。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

(北村議員)

繰り返になってしまうのですが、アンケートをやるかやらないかというところで、立野委

員から出たように、2回やるのかどうなのか、それぞれの意味づけと言いますか、どういうプロセスを経ていくのか、そのあたりについての議論がまだできてないと思うのですが。

(委員長)

その辺いかがですか。今おっしゃったような感じでまたご意見が出た中で、次のアンケートを実施していくのか。

(北村議員)

要はそれによって、アンケートの中身も変わってくるんですね。

(委員長)

いかがですか。

(事務局)

一旦、アンケートをやって、それを事務局が集計して、またそれで次アンケートをやりますという話よりも、ここで一回揉んで頂いて、その中でどうしてもこれはアンケートやるべきじゃないかということであればやるということではないかと思うのですが。本来だとこのアンケートをやって地域に出るというお話ですと進んできたと思います。地域に出て、また意見を聞くというようなこと、これを題材にしてやろうとしていたものをアンケートにしているので、確かに今度その他の意見のところ、例えばコンセプト的なものが書かれていれば、当然意見としては吸い上げをしたいと思いますけれども、その集約をしないと次にどう進むかというのは多分分からなくて、今からアンケートをやりますよという話ではないと思うのですが。進め方として一個ずつ進めていく上で、このアンケートというものをまず位置付けをしていただいたところでこの準備が始まったところなので、このアンケートをまずやっていただいて、その結果を皆さんにまた見ていただいて、それでどう進めようかというところでもいいのではないかなというところだと思います。事務局としてはそういう考えであります。

(北村委員)

はい。やっぱり最初というか前回の会議で私申し上げた通りですけど、やっぱりこのアンケートをこの形でやった場合に新島委員もおっしゃいましたけど、この形でやったらおそらく御宿中という数字がかなり多めに出るのではないかなと。これはやってみないとわかんないですけど、そんな印象があります。それを参考にしますと言いながら、さっき申し上げたように7対3とか8対2とかはっきりした数字が出た時にもったいないなと思います。なぜなら、私がさっきから申し上げているコンセプトの提示であったり、あるいはそれを元にした町民の皆さんの議論とか、そういったことがこれをやりますとほぼほぼ決まってしまうのではないかと。覆すのは難しいのではないかなと。これで7対3とか8対2と出ってしまったら、議論のしようがないと言うとあれですけど、結構厳しいのではないかなと思うんです。それがどっちに決まってももちろんいいのですが、繰り返しますけど、その議論をしないで進めてしまうというのが、あまりに

もったいないのではないかなと思います。だとすれば1回目のアンケート、吉田委員がおっしゃっていただいたことすごくいいと思うんですね。そういう形で良いところとか心配なところを1回目のアンケートでは挙げていただいて、2回目のアンケートで、それを皆さん見た上で、「確かにここは心配だよね」とか、「こういうメリットあるよね」というのが出た上でやるでもいいですし、あるいはこれでもう出尽くしているのであれば、もう少しきちんと整理して、この一問一答を全部読むのも結構大変なので、この表で今、それぞれの良いところとか心配なところというのがある程度項目出てますけど、これ全部網羅されてないではないですか。なので、これをもう少しきちんと網羅するというのでもいいかもしれないですけど。例えば、具体的に言うと布施小であればやはりスクールバスにお金がかかりすぎるのではなかという声が出てたと思うので、それが入っていないとか、御宿中であれば色々工夫しても、やはり狭いのではないかという声があったと思うので、そういうのも入っていないとか、そういう所が不十分かなと思ってます。

(浅野委員)

アンケートの図面の方なんですけれども、布施小学校の敷地と御宿中学校の敷地でそれぞれ良いところが何点か挙げられていますが、メリットとデメリットと両方挙げておいた方が良いのかなと思いました。そして、もう一つ確認ですが、御宿中学校になった場合にプールはB&Gのプールを利用することを考えているのでしょうか。

布施小学校の場合は、プールが使えますが、御宿中学校になった場合のプールについての基準がないので、と確認したいと思います。

(事務局)

はい。今の中学校の施設を利用するという中で、今も御宿小学校はプールの授業はB&Gを使っています。なので、近くにB&Gがありますので、御宿中学校になった場合は、その辺はB&Gの施設も活用しながらというようなお答えをこの回答の中でされてますので、そういうつもりでいます。プールは、B&Gのプールを活用するということでございます。

(浅野委員)

私、B&Gのプールはずっと前に2、3度利用しただけなので、最近の様子はわからないんですけども、私の記憶では、当時非常に大人用のプールが深かったような気がするんです。今御宿小学校の校長先生もいらっしゃるので、最近の様子を教えてくださいたいんですが。小学校低学年の子どもが、あのプールで大丈夫なのかなとちょっと不安があります。その辺少しご意見伺えればと思います。

(委員長)

はい、いかがですか。

(新島委員)

今年やりましたけど、小さいほうのプールがありまして、そこを低学年は使ってある程度グ

ループ分けをして、泳げるような子は大人用のプールということだったので、プールとしては大丈夫かなと思ったのですが、私の記憶では、両端に大きな換気扇が回っているのですが、片側が確か動いていない状態であったと思います。コロナも心配で、換気をしなくてはいけないなというところがあるのですが、換気が非常に難しく、周りがビニールで仕切られていますので、その空気を出入りさせるというのは、労力のいる施設ではありますので、プール自体は問題ないと思いますが、コロナ対応とあと暑さ対応ですかね。室内ですので、暑さ対応というところで少し苦労は致しましたが、しっかり授業はできました。

(委員長)

なかなかまとまらなくなりましたが、どうでしょうか。大きく意見が二つに分かれていると思うのですが。

(町長)

一言よろしいでしょうか。今皆様方のご意見を伺っている中で、私なりにまとめた場合は、アンケートはこういう形で実施するが、今言ったそのアンケートの裏面の2つの候補の下にいくつか良いところなど書いてありますけど、これでは内容が見えないと言いますか、薄すぎると言う中で、先ほど北村委員がおっしゃっていましたが、もう一枚の横の候補地の表の中に良いところ、心配なところをできるだけこの説明会を通して、皆さんから出た意見がある。それをきちんとまとめて分かりやすく大きく、量的にも多く、そういうものを添付して出したらどうかというふうに私は受け取ったんですけど、そういう形でアンケートをやる。それでまずは判断と言いますかアンケートを頂いて、結果どうなるかわかりませんが、アンケートを基に後日皆様に意見を伺うというふうに私は受け取りますがどうでしょうか。

(委員長)

はい。今町長さんからお話ありました、このA4の資料、これの良いところ、心配なところをもう少し質疑の中の内容を含めたらどうかという話だったと思いますが、いかがでしょうか。

(北村委員)

はい。私の考え方としては今町長がおっしゃっていただいた。で、これは希望ですけれども、4回の説明会から出た意見のまとめていただいた中から拾い挙げた良いところと心配なところ、あとは今までこの場で出たものについても、同じように載せて頂ければなというふうに思います。

(委員長)

今のこの場で出た物というのはどういうものですか。

(北村委員)

今まで、ここの会議で色んな方から意見が出てたと思うんですね。ここが心配だとか、やはり

新島委員もおっしゃっていた布施小だったら特色のある教育ができて、移住もすごく期待できるのではないかという。裏山も遊び場として使えるかもしれないといった色々な意見が出たと思うんです。重複していれば、もちろんいいと思うんですけど。

(委員長)

この場の話し合いの中で出た内容もここに含めたらどうですかということですね。

(北村委員)

そうですね。

(委員長)

アンケートの実施については、やるということによろしいですか。やってみてそれぞれのご意見を出した時点で集約し、どんな意見があるのか、どんな心配があるのかというところをまとめていただいて、次回にそれを提示していただいて、それで皆さんのお話を伺っていきながら協議するということがよろしければ、進めさせていただきたいと思いますが。アンケートの内容については、先ほど私も申し上げましたことと、それから町長さんがおっしゃったことも資料として出していただいて、それで進めるということによろしいですか。

(事務局)

北村委員の言うことはよく分かるんですね。ただ、ここに収めるのにある程度のレベルというのはあると思うんです。その人が思うこととこれを載せるべきというところが、なかなかここに全部収めるというの難しいので、その辺は町長が先ほど集約したところで、町長が事務局に指示を出すのですが、その中で了解されたものを出すということによろしいですか。できるだけ意見は載せようと思いますけど、なかなか載せきれない部分というところもありますので、良いところなのか心配なところなのかわからないケースもあります。その辺も事務局の方の判断で載せられるものだけ載せるということで、やらせていただければと思いますけど、これをまたここに出して、それで了解されたものを出すというと、また時間が遅れていくということになりかねませんので、できればそういう形にさせていただいて、資料は揃えるような形でどうでしょうか。

(委員長)

よろしいでしょうか。

(北村委員)

はい、それはお任せします。あとは、もう一つの私の疑問というか、懸念点はその数字がはっきり出てしまったものをどう受け止めて、どう扱っていくのかということに関してはいかがですか。

(事務局)

事務局としては、あくまでもこのアンケートを取りますよということで、ただそれが数字で出るというのは、当然そう思っている人が多かったら、そういうふうに出るという数字上の話だと思います。それはまた皆さんにお諮りして、こういうふうに出ますよというものを皆さんがどう捉えるかというところだと思いますので、はっきり数字が出るから、これは取らない方がいいという話よりも。

(北村委員)

違います。違います。コンセプトが提示されていない形でアンケートをとってしまうことを懸念しているんです。それでもう決着がついてしまうのではなですか。

(事務局)

それは、場所についてのコンセプトをどうするかという話し合いをすべきということなのでしょうか。例えば、これをやろうとしてるのは、施設検討委員会という委員会の中でこうしていきましようというものを決めているところなので、この中でコンセプトはどういう方向ですねというお話し合いをしていただければ、それは載ると思いますので、ここはこういうコンセプトではないので、他の委員さんが違うでしょうという話をここでしていただければ、それをまとめたものが載っていきます。町としてのコンセプトを出していったら、当然、1箇所にしてコンセプトを出すべき話になりますので、こういうところに決めるのであれば、こういうコンセプトになるのではないかとこのものを皆さんとお話し合いしていただければ、そっちの方が正しい方向にいつてるんじゃないかなというところだと思いますけど、町が出すのであれば、もうここで決めたというような話になってしまうので、その辺をちょっとお願いしたいと思います。

(北村委員)

はい、とりあえず私としては、そのコンセプトが何らかの形で出るべきだというふうに思っているところです。皆さんがどう考えるかですね。

(委員長)

わかりました。なかなかどこに建設するかという、そういう単純なその問題とそれから建設にあたってどのようなコンセプトでそこに建設するのか、そこを一緒に考えるとすごく難しくなると思うんですよね。だから、こちらの方でといったところで、その環境の中でどういうふうにしていくか。それを皆さんで話し合っていくことも必要かなというふうには私は思いますけれども、なかなか難しい。今度は、この場がその立地とそれとコンセプトと両方を話し合なくてはいけない。そういう場だとすごく複雑になってしまって難しい問題ではないかなと。町は、町としての考えがあると思いますし、それぞれの皆さんの考えもあるので、なかなかそれは難しくなるのかなというふうに思います。アンケートを取って、それで住民の方、保護者の方がどんな考えをお持ちの方が多いかということは、まずそれは第一歩、コンセプトを考えるうえでも第一歩になるのかなというふうに思います。いかがでしょうか。

(町長)

よろしいですか。色々なご意見をいただいている中で、北村委員がおっしゃいました、例えば今日なら今日出たものを取り入れてもらって、また、4回の説明会をした中での色々な心配なところとか、良いところなども整理して入れてもらいたい。その辺の評価基準と言いますか、当然、同じようなことを何回も書く必要ないですし、説明会に出た意見全部を入れるとすれば、やはり量的にも同じような状況になってしまうので、ある程度は整理させてもらって入れる。そうした中で、説明会のご意見は非常に貴重で、その中にコンセプトに等しいようなものが私はたくさん出てくると思うんです。そのような中で、先ほどこの会議でも自然が素晴らしいとかコンセプトそのもののような、ご意見が出ていますので、その辺を整理させてもらって、候補地については、アンケートですからとりあえず2つで出させてもらって、それに関する良いところ、心配なところについてもコンセプトというか、具体的に出た内容について出してもらって、その中には、私はコンセプト自体そのものが入ってくると思いますので、そのようにまとめさせていただいて、1回アンケートを実施するというご理解をいただければありがたいと思います。以上です。

(委員長)

はい。ありがとうございます。

それでは、アンケートについては、先ほど皆さんからいただいた内容を含めて直していただき、資料ももちろん添付という形で実施ということでよろしいでしょうか。

(委員) なし

(委員長)

はい。それでは、そのようにさせていただきます。お願いします。

次に議題の3に移らせていただきます。その他となりますが、事務局お願いします。

(事務局)

その他ということで、資料としましては、資料3ということでお配りしております。御宿小学校校舎更新に係る施設見学会の開催についてというものをご覧ください。

こちらですが、説明会でのご意見の中で候補地となっております布施小学校と御宿中学校について、在学中の保護者の方は分かるけれどもそうでない方など施設がどうなっているのか分からないというようなご意見をいただきました。そこで急遽ではございますが、12月18日、来週の日曜日の午前中ですけれども、布施小学校と御宿中学校を自由に見学していただくような施設見学会の方を開催させて頂きたいと思っております。こちらにつきましても期日が迫っておりますので、周知の方法といたしましては学校の連絡メール、また、こども園についてはフェアキャストのメール、所属がない方につきましては通知をさせて頂こうと思っております。また、町のホームページでも開催の記事を掲載させていただければと思っております。対象といたしましては、中学生までのお子さん、勿論保護者様ということでご案内をさせて頂ければと思っております。当

日は、教育課職員を配置させていただいて、自由に見ていただくような形にはなるんですが、ご質問等こちらで分からないこととかがあれば対応させていただきたいと考えております。よろしくお願いたします。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございます。委員の皆様からご質問ございますか。

はい、お願いします。

(岡本委員)

見学会の日程なんですけど、この12月18日の1日だけだとやはり近々の予定で、この日に来られない方もいらっしゃると思うので、後2日ぐらい設けて最低3日ぐらい施設見学の日程を作った方がいいのではないかと思います。あと周知の方法なんですけど、学校に通っているお子さんの親御さんはフェアキャストとか学校メールでわかると思うんですけど、町のホームページに掲載しても見ない人もいると思うんで、長南は防災無線やったときに、防災メールがくるんですけど、そういう感じで防災無線かなんかで、見学のこういう日がありますので、来られる方は見てくださいみたいな事で、本当にまだ0歳位のお子さんの親御さんがこういう内容がある事自体知らないと思うので、もっと広くわかるように周知する方向でやった方が私はいいと思います。以上です。

(事務局)

日程を18日とさせていただいたのは、アンケートの前にこの施設見学会をやった方がいいのではないのかということで、この日にちを1日設定させていただいたところになります。

周知の方法ですが、今ご説明した方法で100%通知ができるというところですので、防災無線は特に考えていません。所属のないお子さんには通知が郵便でいきます。今までもこの説明会の通知がもうすでにいっていますので、こういうことをやっているというのは、周知がされています。なので、施設見学会がありますよというこの通知を出せば、一旦は全員には周知ができるというところなんです。

(委員長)

はい。よろしいでしょうか。日にちは18日だけということですか。なかなか年内の日がないですからね。

(新島委員)

はい、一つ教えてください。アンケートは年代ごとに抽出した方とかで、1,000名の皆様だと思うんですけど、なぜ施設の見学会は、0歳から15歳までの対象に絞ってしまったのですか。

(事務局)

これも説明会の中で出たのは、こども園のお子さんをお持ちの方が中学校と布施小学校を全く

知らないというようなお話がありました。ただ、もうそこだけに絞ってしまうよりは、お子さんお持ちのご家庭全体に出せばおおよその方が見ていただけるでだろうというところです。一般の方を入れなかったのは、一般の方は長くここに住んでいたりするだろうということで、小学校の建設というものに、なかなか馴染みがない部分もありますので、一旦は全く知らないという方がいますよというお話があったので、そこに絞らせていただいたというところです。

(新島委員)

はい、すみません。浅野委員もおっしゃったように五倫鬘というのが御宿には本当に根強く生きていて、本当に地域の皆様が五厘ずつ貯めて作ってくださった校舎でその精神が出ていると思っておりますが、やはり校舎建設に関して、せっかくアンケートをやるのですから、この施設見学会でもオープンにして地域の皆様にたとえ足を運んでいただけなくても、そこに制限をかけるのではなくお示ししても良いのかなと思いました。

(事務局)

一般の人のアンケートを実施するのが全員ではありません。このお子さんというのは、その意見があったのは一番、今後その学校を使うという方が多いというところです。候補地の敷地を見て頂いて、その中でアンケートしてもらいたいというものを説明会の中でずいぶんお話があったもので、そこを中心に考えていたのが、この0歳から15歳ということで考えています。地域の人たちが学校を一切無視するとか、そういう話ではなくて、どこの地域の人たちも学校をすごく大事に思っているだけに、学校がどこにあるか知らないということはないと思うんですね。なので全く踏み入れたこともないというような人がいますよということの中で、このように設定させていただいておりますので、ご理解いただきたいと思います。

(町長)

はい、今の話ですが、事務局は事務局の立場がありますから、そのお考えでおっしゃってますけども、私としては検討させてもらうということで、今のご意見を検討しますから、それでご理解ください。要するに五倫鬘の精神という非常に大事なことは関連していると私も思いますので、その小学校が移るということで、現在の該当される保護者だけではなくて、やはり町民の視線はそこにあるから、お知らせだけはしてくださいというご意見だと思いますので、私は理解いたしますので検討しますということでよろしくお願ひします。

(委員長)

はい、ありがとうございました。その他、ご質問ございますでしょうか。

(北村委員)

この回答の中で、意見交換会のご要望なんかもあったと思うのですが、その辺については何かご検討がされているのでしょうか。

(町長)

行政区単位でご希望と言いますか、区長さんの意見を伺いながら実施する方法も一つありますけど、ご意見いただいた方々で、やはりある程度グループという場を持っている状況がありますので、そういうところには出掛けて行って動きたいなと思っています。また、新たなそのグループなどあるというお知らせをいただければと思っていますので、そのように思っております。

(北村委員)

やはり懸念されるのが、このアンケートでこの数字が出る。その意見交換会して、その意見はどこにいつ反映されるのかというところだと思うんですね。私が言うのは、どんどん先送りになるのではないかというお声があると思うんですけど、やるならそれをやってからアンケートだと思うんですね。

(町長)

私が申し上げたのは、アンケートがある程度日程がありますから、本日は12月8日ですから、何日かありますので、この期間の間ということで、やはり交換会で出たものも説明会でご意見いただいたのも同じように、例えば場所が違ったから意見を言うことができたとか、そういう方もいらっしゃるのではないかと思います。そういう意味で理解して、回数とかあるいは月日のスケジュールということについては、そのように私は理解して申し上げます。

(北村委員)

せっかくのチャンスなので、五倫鬢のお話もありますし、繰り返しになりますけれども、すべて町で全部決めて、これでいきますというやり方も一つだったと思うんですが、でも今もう町の皆さんから声を伺ってという方針で町長始められましたので、やっぱり中途半端だなという感が拭えないですね。せっかくそうやって町の声聞くんだという方針でやられるのであれば、もっと議論を深めて、ある程度コンセプトというものが形になってから、その数字がきちんと出てしまうような形のアンケートをやるのであれば、その議論を尽くしてからコンセプトがそれぞれ形になってからやるべきだと思いますし、そうでなければ、アンケート1回やるのであれば、その数字的な結論が出てしまわないような形で、良いところ心配なところを上げていただくという狙いに絞ったアンケートにすべきではないかなと。その意見交換会の話も伺った上で改めて思いました。私としては以上です。

(委員長)

やはり集約の仕方がなかなか難しいかと思っています。数字で現われるかわからないけれども、その記述の内容もそこも重点的に見ていかないと、全てその数字でどっちこっちというわけにいかないと思うので、そこは見ていくということは必要なかと思っています。だから、本当にこっちあっちではなくて、その内容も吟味するというのが、そのアンケートを実施する上で一番見過ごしてはいけない点ではないかなと思います。

他に質問とかありますか。

(吉野委員)

すみません。確認させてください。施設見学会賛成です。学校現場を預かる責任者としては、何をどの程度見せるのかというところが一番で、個人情報に係る物が沢山あります。日曜日ですから、学校教育課が来てくれるとはいえ、両方の時間が同時に動いていてかなり難しいのではないかとこのところが考えられます。今このご時世なので、私どもの学校が今日遅れたのもコロナ対応で遅れています。今消毒してる状況です。なので、そこら辺のところも含めて質問したいなと思います。お願いします。

(委員長)

事務局よろしいですか。

(事務局)

今の質問は、安全の確保をしてほしい、個人情報を見せるのかというところですか。

(吉野委員)

そうですね。どの程度まで見せるのかというところを教えてください。

(事務局)

それを全部守るとなると見せられなくなると思います。だから布施小学校の場合は、質問の中でもあった通り、御宿小学校を建て替えるまで布施小学校に人が入れないのかとか、そういう質問が出たりしてたので、本来であれば敷地を見せれば良いと思うのですが、やはり部屋がどれだけ狭いんですよという部分も見せなきゃいけないなという部分で中も見せようかと判断をしているところです。職員が2人体勢でいこうと思っていますけれども、ここの部屋を見せてくださいということであれば、その部屋しか見せないというような方法もありかなと思います。敷地をまず見ていただくというのが一番の重要なところなので、布施小の場合はそういうことです。ただ、中学校の場合は、やはり中を見ないことにはというお話がありましたので、中を見ていただかないといけないと思いますので、やはり見せないわけにはいかないの、それは校長先生と相談します。名札とか名前とか個人情報の部分をどうするかということ考えなくてはいけないかなと思います。このお話でいくと見たいという方がいましたので、見せる方向でその中で最大の対処をしようと思います。

(委員長)

はい、ありがとうございます。やはりそれぞれの学校と調整が必要かと思しますので、お願いしたいと思います。

(吉田誠委員)

はい、中学校ですけども、この前委員の皆様が見学に来てくださった時は、皆さんでまとまって動いたと思うんですけども、この時間からこの時間、入り口で確認したら、あとは自由に動

いていいですよというのは、防犯上怖いなど自分は感じています。やはり関心を持ってくださっている方、いい人だと思っているのですが、例えばそこに悪意を持った人が紛れ込んでいた時に、月曜日来てみたらこんなことになってしまったということもちょっと心配されます。そこはご検討願えればと思います。以上です。

(委員長)

それでは、先ほど申しましたように事務局と調整して打ち合わせをしてください。
他にございますか。

(岡本委員)

先ほどの北村さんの話の続きなんですけど、アンケートすることは本当にいいことだと思って、学校経緯説明会に、参加率が41%しかなくて、あとの59%ぐらいの方が来ていないということなんですよ。それで、この間説明会に来てないというお母さんとお会いしてお話を聞いたら、説明会があったんだけど行かなかったと、それでその後どうなったのかということをお聞きしました。行きたかったけど、ちょっと行きづらかったというお母さんたちはたくさんいたように感じます。なので、59%の保護者の方は、遠慮したというか、そういう気持ちがあると思うので、今回このアンケートを出して、その人たちの意見をその場でも言えない人もたくさんいると思いますので、意見をここにたくさん書いてもらって、その上で吸上げというか、どちらにするかという判断でもあり、その人たちの意見も取り入れるという形としては、このアンケートは有効なんじゃないかなと思うので、進めていったら良いと思います。以上です。

(委員長)

ありがとうございました。
アンケートの中に自由記述がございますので、ここに書いていただくということだと思います。
他にございますか。

(委員) なし

(委員長)

ないようですので、事務局にお返ししたいと思います。よろしく申し上げます。

(事務局)

ありがとうございました。それでは、委員皆様から出ましたご意見をまとめさせていただいて、アンケート等にも色々と加えさせていただき、アンケートを今年中に実施ということで進めさせていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

以上もちまして、御宿町教育施設検討委員会を終了いたします。
お忙しい中ありがとうございました。